

# さんらいなあ2



## 車いす利用者も快適に乗船できるよう配慮された高速船

船内全体をバリアフリー化、車いす利用者用座席・多目的トイレを備え、ゆとりのある座席スペース、乗降時には出入口にスロープを設置して段差を解消するなど、車いす利用者でも快適に乗船できる。

触知案内版や音声・光点滅の誘導灯など、視覚障がい者・聴覚障がい者にも配慮した設備を設置している。

車いす利用者も不自由なく乗船できる点が評価された。



▲出入口のスロープ



▲多目的トイレ



▲触知案内版

## 受賞者の声

平成26年度北海道福祉のまちづくり賞を受賞いたしまして、大変光栄に存じます。離島観光で訪れる高齢者や障がい者などに、利用しやすい高速船を就航しております。これからは、さらにソフト面での充実を社員一同図って参ります。

所有者：羽幌沿海フェリー株式会社

設計者：墨田川造船株式会社

所在地：苫前郡羽幌町港町1丁目51番地

## 北広島団地第二住区 「地域のお茶の間」運営委員会



### 市民による市民のための活動を通して、市民が交流する場を提供

「北広島団地活性化計画」の策定過程において、「できることは始めよう」と、市民有志等が平成21年11月に始めた活動。団地の住民が運営委員・運営ボランティアを務め、市民による、市民のための演奏会等を実施。演奏会、詩吟、JICA（国際協力機構）の研修生との国際交流など多彩な活動を毎月実施しているほか、毎年3月には市民音楽祭を開催している。

北広島市民、周辺市町民、団地住民相互の交流の場、障がい者・高齢者も楽しめる場を提供するとともに、高齢化が進む団地の活性化に貢献しており、地域の住民に認められている点が評価された。



▲市民のために行われる、様々な楽器による演奏会の様子

### 受賞者の声

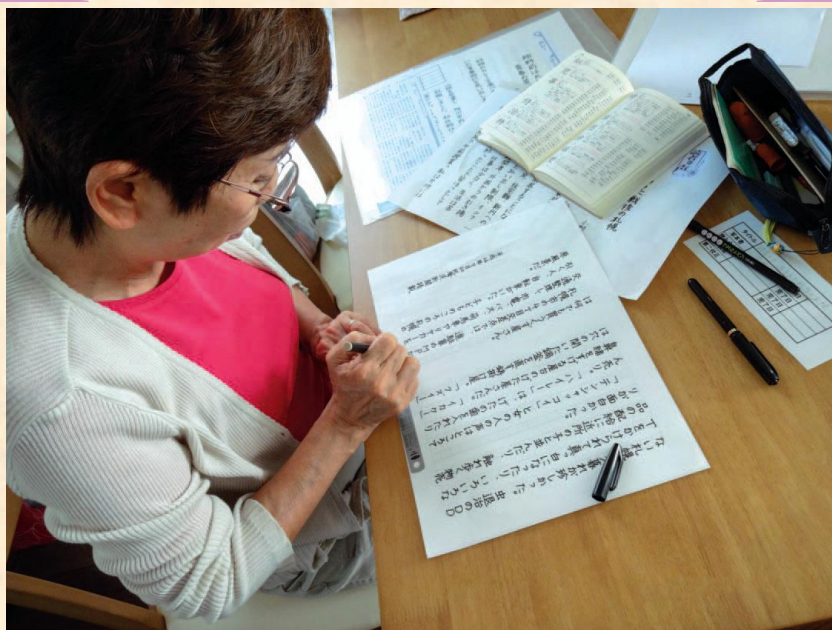
この度の受賞を励みにして、「つながる心、つなげる地域」の精神で活動を継続していきます。子供たちや高齢者・障がい者が「この団地に生まれて良かった。」「生涯、ここで暮らそう。」と思える地域の実現を目指します。

所在地：北広島市南町3丁目10番1号

撮影者：事務局長 富樫 久夫



## 拡大写本グループ「虫めがね」



### 視力の低下により読書を離れた方に、拡大写本で再び読書の楽しみを

加齢や病気により視力が弱くなった方や読み聞かせをする方の負担を軽減するため、特別養護老人ホーム等、札幌市内の高齢者が入居・利用している施設に対して、新聞記事等の内容を大きな文字で書き写した拡大写本を無償で配布している。平成7年に活動を始め、当初は子どもたちのための拡大写本づくりを行っていたが、高齢者や自分たちにも読みやすい大きな文字の本を作りたいと願い、賛同者が増えて現在の活動に至る。

拡大写本は視力が低下しても読書を楽しめると好評を得ており、長期にわたって活動を行っている実績と活動の独自性が評価された。



▲拡大写本作りは手作業で行われ、暖かみを感じられる仕上がりになっている

### 受賞者の声

この度の受賞を、「虫めがね」の仲間一同、とても嬉しく思っております。お年寄りの皆様やご病気の方々に楽しみにしていただけるような、読みやすく面白い本づくりに、これからも励んでまいりたいと存じます。

所在地：札幌市北区北21条西3丁目1番7号



## 「サマースクール in ほくと」実行委員会



### 様々な団体が協力して、障がい児に夏休みの思い出を

北斗市手をつなぐ育成会が中心となって、様々な団体から構成される実行委員会を組織し、平成17年から活動を開始。特別支援学級・特別支援学校等の障がい児を3日間のサマースクールに招き、様々な体験をしてもらうことで、障がい児に夏休みの思い出づくりの場を提供するとともに、保護者に休息の機会を提供する。

異なる学校に在籍する障がい児同士の交流の場となっているだけでなく、ボランティア参加者が障がい児に対する理解を深める機会ともなっており、活動の視点及びその活動を様々な組織・団体が協力して実施していることがこれからの市民活動のモデルになりうる点が評価された。



▲3日間のサマースクールで、障がい児にいろいろな経験をしてもらう

### 受賞者の声

北海道福祉のまちづくり賞をいただき、誠にありがとうございます。様々な人との関わり、経験や体験が子供たちの将来にプラスになるよう願いを込めて今後も活動していきたいと思っております。

所在地：北斗市中央2丁目4番10号